

## 大阪医労連 全日赤大阪



日々の過酷な労働に流され、また、次から次へと起る職場の問題に翻弄されて、憲法を守る問題には取り組めていないあと反省しています。従軍看護婦の方のお話を伺った時、「兵隊さんより早く私たちは招集されました。」という言葉が耳に残っています。

医療の職場は「思考」というところから、もう準備が進められていると感じています。毎日のように学習会・委員会があり、職場では一人ひとりが様々な委員

につかされています。中学生じゃあるまいし、服装委員もいます。ある職場では、接遇委員が「忙しくさせて頂けることに感謝します」と張り出しています。まさに、全体主義の練習をさせられているようです。働くものの人権が大切にされない職場は、利用者の人権もないがしろにされます。職場では「人権」という問題に日々ぶちあたります。私たちの仕事そのものが、憲法を生かす、守ることと直結しています。私たちの単組は、一日おきに700枚の朝ビラを職員に配っています。そこから始めよう！医療労働者にとっての要求に根ざした憲法を守る運動を、ビラに載せてその輪を広げようと思います。(〇)



## 平和な未来がつづくように

平和ニュース発行一周年記念 集い

どろんこ保育園分会 9条の会

昨年8月の長崎原水爆禁止世界大会に参加して、戦争の恐怖・平和の大切さを身にしみ

て感じました。平和の大切さについて広めようと思い、毎月9日に平和ニュース「どろんこ9」を発行して今月7月で12号を迎えました。発行一周年を記念して、平和をより広めて深めたいと分会9条の会で話し合い、平和の集いを開くことにしました。

7月10日(月)平和の集い参加者:保護者9名、職員15名他の職場職員3名集いの前半は、実際に沖縄戦を体験したパート調理師さんに語り部をお願いしました。語り部を引き受けて下さった先生は家族共に助かったようですが小学校2年生の記憶が昨日のように思い浮かぶようです。

アメリカ兵の爆弾、銃がどこからでも飛んでくる中で逃げていて、どこにいても危険な戦時中。人間の死体が転げ落ちその上を戦車が走る、人間が人間でなくなる戦争を絶対に繰り返してはいけないと強く話して下さいました。交流会では、祖父から戦争の話を書いたことがある、絶対に子どもを戦場にいかしたくない・マスコミ テレビの影響で流されていたけど、今日の話聞き、人に平和を伝えていこうと思ったと話す保護者。参加者みんなが平和の思いを語ることで、平和の大切さをあらためて感じて深めることができました。

子どもたちに平和な未来を残すため発信源となり、広く伝えて行きたいと思っています。

**\* 各団体の原稿・ニュース・写真をお寄せ下さい。(担当：藪田・松尾)**